認定プログラムの名称	JCSS（国際 MRA 対応）
認定識別	JCSS 0062 Calibration
認定された適合性評価機関の名称	公益財団法人放射線計測協会
法人の名称	公益財団法人放射線計測協会 法人番号 4050005010671
問い合わせ窓口	校正グループ TEL：029-282-5549　　FAX：029-283-2158

20241113評 基 第006号
2025 年 5 月 7 日

認　定　証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を JCSS 認定プログラムの校正事業者として認定する。

認　定　識　別：JCSS 0062 Calibration
適合性評価機関の名称：公益財団法人放射線計測協会
法 人 の 名 称：同上
適合性評価機関の所在地：茨城県那珂郡東海村白方白根 2 番地の 4
認　定　範　囲：放射線・放射能・中性子（詳細は別紙のとおり）
認 定 要 求 事 項：ISO/IEC 17025:2017
　　認定スキーム文書（JCSS 認定）に記載した
　　認定要求事項
認 定 発 効 日：2025 年 5 月 7 日
認定の有効期限：2028 年 6 月 24 日
初回認定発効日：2006 年 10 月 26 日

独立行政法人製品評価技術基盤機構
認定センター所長 石毛 浩美

・IAJapan(独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター)は、ILAC(国際試験所認定協力機構)及び APAC(アジア太平洋認定協力機構)の MRA(相互承認取決め)に署名している認定機関です。
・相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準（該当する国際規格）適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項（方針）を指します。
・この事業者は ISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです（2017 年 4 月 ISO-ILAC-IAF 共同コミュニケ参照）。
・IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

登録（認定）に係る区分：放射線・放射能・中性子
法律に基づく初回登録年月日：1995 年 12 月 1 日
国際 MRA 対応初回認定発効日：2006 年 10 月 26 日
校正手法の区分の呼称［登録更新（認定発効）年月日］：X線測定器・γ線測定器［2024 年 6 月 25 日］
恒久的施設で行う校正／現地校正の別：恒久的施設で行う校正
校正測定能力

校正手法の区分の呼称#	種類	校正範囲			拡張不確かさ（信頼の水準約 95 %）	
X線測定器	線量測定器、線量計測素子（中硬X線）	エネルギー範囲：30 keV(4.8 fJ) 以上 200 keV(32 fJ) 以下				
		Ⅰ	照射線量	1.3 mC/kg 以上 0.13 C/kg 以下	2.0 %	
			照射線量率	1.3 mC/(kg･h) 以上 0.13 C/(kg･h) 以下	2.0 %	
			空気吸収線量	44 mGy 以上 4.4 Gy 以下	2.0 %	
			空気吸収線量率	44 mGy/h 以上 4.4 Gy/h 以下	2.0 %	
			空気カーマ	44 mGy 以上 4.4 Gy 以下	2.0 %	
			空気カーマ率	44 mGy/h 以上 4.4 Gy/h 以下	2.0 %	
			線量当量	68 mSv 以上 6.8 Sv 以下	6.8 %	
			線量当量率	68 mSv/h 以上 6.8 Sv/h 以下	6.8 %	
		Ⅱ	照射線量	2.9 μC/kg 以上 1.3 mC/kg 未満	2.1 %	
			照射線量率	2.9 μC/(kg･h) 以上 1.3 mC/(kg･h) 未満	2.1 %	
			空気吸収線量	100 μGy 以上 44 mGy 未満	2.1 %	
			空気吸収線量率	100 μGy/h 以上 44 mGy/h 未満	2.1 %	
			空気カーマ	100 μGy 以上 44 mGy 未満	2.1 %	
			空気カーマ率	100 μGy/h 以上 44 mGy/h 未満	2.1 %	
			線量当量	110 μSv 以上 68 mSv 未満	5.7 %	
			線量当量率	110 μSv/h 以上 68 mSv/h 未満	5.7 %	
γ線測定器	線量測定器、線量計測素子	エネルギー範囲：200 keV(32 fJ) 以上 1250 keV(200 fJ)以下			置換法	逆二乗法
		Ⅰ	照射線量	1.3 mC/kg 以上 0.13 C/kg 以下	1.5 %	2.9 %
			照射線量率	1.3 mC/(kg･h) 以上 0.13 C/(kg･h) 以下	1.5 %	2.9 %
			空気吸収線量	44 mGy 以上 4.4 Gy 以下	1.5 %	2.9 %
			空気吸収線量率	44 mGy/h 以上 4.4 Gy/h 以下	1.5 %	2.9 %
			空気カーマ	44 mGy 以上 4.4 Gy 以下	1.5 %	2.9 %
			空気カーマ率	44 mGy/h 以上 4.4 Gy/h 以下	1.5 %	2.9 %
			線量当量	52 mSv 以上 5.2 Sv 以下	4.6 %	5.2 %
			線量当量率	52 mSv/h 以上 5.2 Sv/h 以下	4.6 %	5.2 %
		Ⅱ	照射線量	7.8 μC/kg 以上 1.3 mC/kg 未満	1.7 %	3.0 %
			照射線量率	7.8 μC/(kg･h) 以上 1.3 mC/(kg･h) 未満	1.7 %	3.0 %
			空気吸収線量	260 μGy 以上 44 mGy 未満	1.7 %	3.0 %
			空気吸収線量率	260 μGy/h 以上 44 mGy/h 未満	1.7 %	3.0 %
			空気カーマ	260 μGy 以上 44 mGy 未満	1.7 %	3.0 %
			空気カーマ率	260 μGy/h 以上 44 mGy/h 未満	1.7 %	3.0 %
			線量当量	310 μSv 以上 52 mSv 未満	4.7 %	5.3 %
			線量当量率	310 μSv/h 以上 52 mSv/h 未満	4.7 %	5.3 %

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

校正手法の区分の呼称#	種類	校正範囲				拡張不確かさ（信頼の水準 約 95 %）	
γ線測定器	線量測定器、線量計測素子	エネルギー範囲：200 keV(32 fJ) 以上 1250 keV(200 fJ)以下				置換法	逆ニ乗法
		Ⅲ	照射線量	2.9 μC/kg 以上 7.8 μC/kg 未満		1.8 %	3.0 %
			照射線量率	2.9 μC/(kg･h) 以上 7.8 μC/(kg･h) 未満	γ線照射装置	1.8 %	3.0 %
					4πγ線源	1.8 %	3.5 %
			空気吸収線量	100 μGy 以上 260 μGy 未満		1.8 %	3.0 %
			空気吸収線量率	100 μGy/h 以上 260 μGy/h 未満	γ線照射装置	1.8 %	3.0 %
					4πγ線源	1.8 %	3.5 %
			空気カーマ	100 μGy 以上 260 μGy 未満		1.8 %	3.0 %
			空気カーマ率	100 μGy/h 以上 260 μGy/h 未満	γ線照射装置	1.8 %	3.0 %
					4πγ線源	1.8 %	3.5 %
			線量当量	120 μSv 以上 310 μSv 未満		4.7 %	5.3 %
			線量当量率	120 μSv/h 以上 310 μSv/h 未満	γ線照射装置	4.7 %	5.3 %
					4πγ線源	5.4 %	6.2 %
		Ⅳ	照射線量	83 nC/kg 以上 2.9 μC/kg 未満		2.5 %	3.5 %
			照射線量率	83 nC/(kg･h) 以上 2.9 μC/(kg･h) 未満	γ線照射装置	2.5 %	3.5 %
					4πγ線源	2.6 %	4.0 %
			空気吸収線量	2.8 μGy 以上 100 μGy 未満		2.5 %	3.5 %
			空気吸収線量率	2.8 μGy/h 以上 100 μGy/h 未満	γ線照射装置	2.5 %	3.5 %
					4πγ線源	2.6 %	4.0 %
			空気カーマ	2.8 μGy 以上 100 μGy 未満		2.5 %	3.5 %
			空気カーマ率	2.8 μGy/h 以上 100 μGy/h 未満	γ線照射装置	2.5 %	3.5 %
					4πγ線源	2.6 %	4.0 %
			線量当量	3.3 μSv 以上 120 μSv 未満		5.0 %	5.6 %
			線量当量率	3.3 μSv/h 以上 120 μSv/h 未満	γ線照射装置	5.0 %	5.6 %
					4πγ線源	5.7 %	6.5 %

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

校正手法の区分の呼称［登録更新（認定発効）年月日］：速中性子測定器［2024 年 6 月 25 日］
恒久的施設で行う校正／現地校正の別：恒久的施設で行う校正
校正測定能力

校正手法の区分の呼称#	種類	校正範囲		拡張不確かさ（信頼の水準約 95 %）
速中性子測定器	ﾌﾙｴﾝｽ測定器、ﾌﾙｴﾝｽ計測素子、線量測定器、線量計測素子	中性子線源の種類；^{241}Am-Be 中性子線源		－
		中性子フルエンス	10^3 cm^{-2} 以上 10^7 cm^{-2} 以下	6.8 %
		中性子周辺線量当量	0.39 μSv 以上 3.9 mSv 以下	11 %
		中性子個人線量当量	0.41 μSv 以上 4.1 mSv 以下	11 %
		中性子フルエンス率	4.1×10^{-1} cm^{-2}･s^{-1} 以上 1.7×10^{2} cm^{-2}･s^{-1} 以下	6.8 %
		中性子周辺線量当量率	0.57 μSv/h 以上 0.24 mSv/h 以下	11 %
		中性子個人線量当量率	0.60 μSv/h 以上 0.25 mSv/h 以下	14 %
		中性子線源の種類；^{252}Cf 中性子線源		－
		中性子フルエンス	10^3 cm^{-2} 以上 10^7 cm^{-2} 以下	7.2 %
		中性子周辺線量当量	0.39 μSv 以上 3.9 mSv 以下	7.6 %
		中性子個人線量当量	0.40 μSv 以上 4.0 mSv 以下	7.2 %
		中性子フルエンス率	2.0×10^{1} cm^{-2}･s^{-1} 以上 4.9×10^{2} cm^{-2}･s^{-1} 以下	7.0 %
		中性子周辺線量当量率	28 μSv/h 以上 0.68 mSv/h 以下	7.4 %
		中性子個人線量当量率	29 μSv/h 以上 0.71 mSv/h 以下	8.9 %

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

校正手法の区分の呼称［登録更新（認定発効）年月日］：γ線測定器［2024 年 6 月 25 日］
恒久的施設で行う校正／現地校正の別：現地校正
校正測定能力

校正手法の区分の呼称#	種類	校正範囲			拡張不確かさ（信頼の水準約 95 %）
γ線測定器	γ線照射装置（放射線源 ^{137}Cs, ^{60}Co）	エネルギー範囲：200 keV(32 fJ) 以上 1250 keV(200 fJ) 以下			
		Ⅰ	照射線量	130 μC/kg 以上 0.13 C/kg 以下	1.7 %
			照射線量率	130 μC/(kg･h) 以上 0.13 C/(kg･h) 以下	1.7 %
			空気吸収線量	4.4 mGy 以上 4.4 Gy 以下	1.7 %
			空気吸収線量率	4.4 mGy/h 以上 4.4 Gy/h 以下	1.7 %
			空気カーマ	4.4 mGy 以上 4.4 Gy 以下	1.7 %
			空気カーマ率	4.4 mGy/h 以上 4.4 Gy/h 以下	1.7 %
			線量当量	5.2 mSv 以上 5.2 Sv 以下	4.7 %
			線量当量率	5.2 mSv/h 以上 5.2 Sv/h 以下	4.7 %
		Ⅱ	照射線量	2.9 μC/kg 以上 130 μC/kg 未満	2.2 %
			照射線量率	2.9 μC/(kg･h) 以上 130 μC/(kg･h) 未満	2.2 %
			空気吸収線量	100 μGy 以上 4.4 mGy 未満	2.2 %
			空気吸収線量率	100 μGy/h 以上 4.4 mGy/h 未満	2.2 %
			空気カーマ	100 μGy 以上 4.4 mGy 未満	2.2 %
			空気カーマ率	100 μGy/h 以上 4.4 mGy/h 未満	2.2 %
			線量当量	120 μSv 以上 5.2 mSv 未満	4.9 %
			線量当量率	120 μSv/h 以上 5.2 mSv/h 未満	4.9 %

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

校正手法の区分の呼称［登録年月日］：α/β 線核種［2025 年 5 月 7 日］
恒久的施設で行う校正／現地校正の別：恒久的施設で行う校正
校正測定能力

校正手法の区分の呼称#	種類	校正範囲		拡張不確かさ（信頼の水準約 95 %）
α/β 線核種	荷電粒子測定器	機器効率	核種：α線 ^{241}Am 表面放出率：3.5 s^{-1} cm^{-2} 以上 4.5 s^{-1} cm^{-2} 以下	11 %
			核種：β線 ^{36}Cl 表面放出率：2.5 s^{-1} cm^{-2} 以上 3.5 s^{-1} cm^{-2} 以下	12 %

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。
※α/β 線核種は MRA 対応ではありません。